

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		子どもプラス千歳教室		公表日	令和8年3月19日		利用児童数	20	回収数	20	
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見		ご意見を踏まえた対応		
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14			6	子どもから聞いた。行ってみたい。見たことがない。(4)	スペースの確保は以前の事業所よりもとりやすくなったため、安全に配慮して楽しめる環境を作っています。			
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	16			4	活動の様子を見たことがない。(2)	職員配置には現状問題ありませんが、今後も支援体制を常に整えていきます。			
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11			9	見たことがない。(3)	移転後の環境に少しずつ慣れてきたと思います。有効的な活用方法を支援状況と照らし合わせながら考えていきます。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	13			7	見たことがない。(3)	運動したり、座って取り組む遊びいづれも楽しめるスペースを確保できるように活動内容の工夫もしていきます。			
適切 な 支 援 の 提 供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	18	1		1	見たことがない。(1)	支援に関しての打ち合わせや共有を欠かさず行い、また研修にも積極的に参加し日々の支援に活かしていきます。			
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	20					一人一人の支援を5領域を踏まえた中で運動を通して心と体の成長を促しているよう意識して支援に臨みます。			
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	18		1	1		相談支援等1名の方をモニタリングを行い、保護者のニーズを保護者ご自身も含め、管家機関で共有し、計画作成につなげています。			
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	18			2		ご本人・ご家族に対するサポートをしながら次のステップアップも視野に入れた助言をしています。今後は地域との交流も入れていきたいと思っています。			
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	18			2		専門的支援実施計画も含め、支援内容を日々見直し、支援にあたります。			
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	19	1				活動を見ているわけではないため、わからない。	支援者全員で案を出し、固定化されないよう話し合って決めていきます。		
	11	保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	15			1	4		事業所移転を機に、積極的な地域交流も考えていきたいと思っています。		
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	19	1				ご契約の際の説明、利用者の方のニーズに合わせて、今後も説明を行います。			
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	18	1		1		計画内容の説明は面談の際に実施していくということを継続して行います。			
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	13	2		5		保護者の方の悩みを共有できる場を今後も引き続き設けていきます。			
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	17	1	1	1		連絡帳、LINE、送迎時のやりとり等さまざまなツールで情報共有を引き続き行います。			
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	18			1	1		モニタリングの面談以外でも、面談の希望がありましたら、日程調整をし助言等を必要に応じて行います。		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	19				1		保護者の方の考えや意向を聞いたり、汲み取りながら、支援者全体に共有していきます(児発管の役割)。		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	14	3		3			保護者会は今後も実施し、保護者の方同士でも情報共有・情報交換をし、お互いに助け合える環境を作っていきます。		
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	18				2		ご家庭の状況を聞いた上で、関係機関につなげていくということも、事前に説明をしたり、仲介しながら関係機関とのパイプを作れるようにしていきます。		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	20						具体的な情報を交換し、状況にあった提案や助言をしています。		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	19				1		評価表記入の際に、ホームページの公開に関して引き続きお知らせします。		
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	20						個人情報に該当する書類等は今後も管理の仕方を徹底していきます。			

非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	18			2	保護者への十分な説明とあらゆる事故やトラブルに対応できる体制作りに関しての見直しをしています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	19			1	事業所移転後に1度避難場所の確認と避難経路の確認を行いました。定期的に災害発生に備えた訓練を実施します。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	19			1	支援内容によっても安全確保の仕方は細かく変わってくるため、危険な状況・環境を作らないようにしていきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	18			2	医療機関先への対応、緊急連絡先の確認をし速やかに連絡をしたり対応していく体制は今後も作っていきます。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	20				不安なことや疑問が言いつらいこともあるため、安心して伝えていただけるような関係性をご家族と作っていきます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	19	1			ご家庭での振り返りもしていただく等協力しながら一人一人が楽しめることを増やしていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	18	1		1	支援者側は慢心することがないよう、より成長・向上していくことを目標に意識を高め、日々の支援にあたります。